
テクノスジャパンの取引情報共有プラットフォーム「CBP 注文決済サービス」 バージョンアップで発注における取引業務をさらに効率化

DX でつながる社会の未来を切り拓く株式会社テクノスジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長執行役員：吉岡隆、以下「テクノスジャパン」、証券コード 3666）は、企業間協調プラットフォーム「Connected Business Platform（略称：CBP）」上の「注文決済サービス」バージョン 23.2.0 を 2023 年 10 月にリリースいたしました。

テクノスジャパンは、企業規模に関わらず取引のデジタル化を促進し、お客さま企業のデータドリブン経営に伴走します。

CBP は、各企業の ERP や CRM 上のデータを連携する協調プラットフォームです。企業間データを齟齬なく、柔軟に、そしてリアルタイムに活用できます。CBP を活用することで企業間取引の効率化を実現できます。

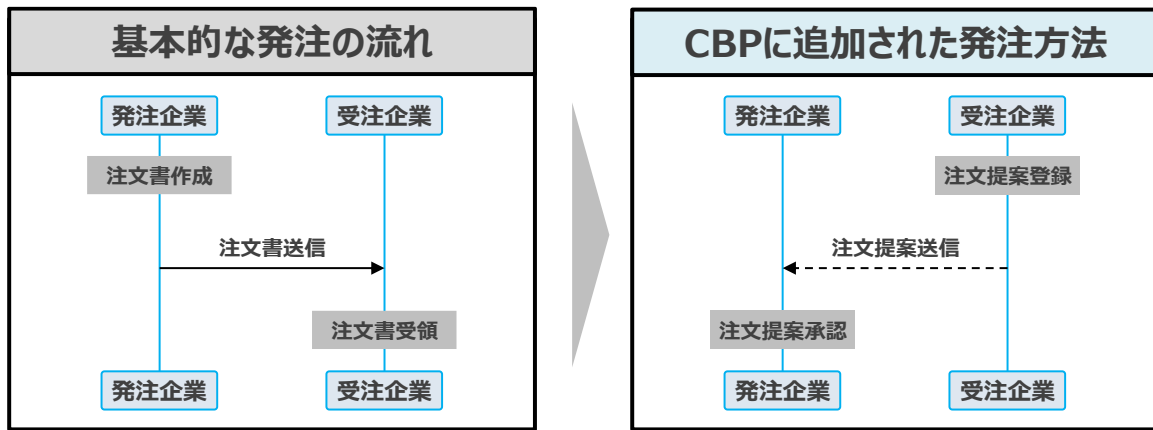
今回バージョン 23.2.0 のアップデートは、サービス拡張により発注企業の取引業務をさらに効率化します。

発注企業は、受注企業から発注内容の提案を受けることが可能となります。これにより、これまで発注企業で発生していた注文間違いや入力作業が、受注企業からの積極的な提案により、予防や削減可能となります。受注企業は、CBP 上で自社商品を提案でき、発注企業へ販売促進することができます。

その他のサービス拡張として値引/値増などの金額調整機能を追加しております。これにより今までメールや電話等で煩雑になりやすかった値引/値増のコミュニケーションが、発注企業と受注企業それぞれ同一プラットフォーム上での簡単な承認確認の作業のみで完結します。

■バージョン 23.2.0 アップデート内容

- ・受注企業による発注企業への注文提案機能
- ・値引/値増などの金額調整機能 など



発注企業のメリット： 注文間違いの予防、注文情報の入力工数削減
受注企業のメリット： 自社商品の提案による販売促進

図：注文提案機能イメージ

テクノスジャパンは、今後も CBP の提供サービスやそれらを構成する機能の拡張を進めます。

■ CBP (Connected Business Platform) について

CBP は、各企業が持つ ERP や CRM 上のデータを連携し、企業間取引データを齟齬なく、柔軟かつリアルタイムに活用する協調プラットフォームです。データを溜める、活かす企業間取引基盤と、データをつなぐデータ連携基盤の 2 つのコア基盤で構成されます。データ活用による企業間コミュニケーションの効率化で、バリューチェーン全体の生産性向上を実現します。



URL : <https://www.tecnos.co.jp/lp/cbp/>

<会社概要>

■ 株式会社テクノスジャパン

1994 年に創業し、ERP ビジネスを中心に事業を拡大。2018 年、20 年の M&A により、もう一つの柱として CRM ビジネスを確立。取り扱いソリューションは ERP のグローバルスタンダードである SAP、CRM のグローバルスタンダードである Salesforce が中心で、現在はこれらに加えてテクノスジャパン独自の企業間協調プラットフォーム「CBP」上にクラウドサービスを展開。「企業・人・データをつなぎ社会の発展に貢献する」をグループミッションに掲げ、企業向けの経営・業務領域のデジタルトランスフォーメーションを推進するサービスを提供しています。

所在地：東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー14 階

代表者：代表取締役 社長執行役員 吉岡 隆

設立：1994 年 4 月 27 日

資本金：5 億 6,252 万円

HP : <https://www.tecnos.co.jp>